

平成29年 5 月定例会議事録

平成29年 5 月12日

鹿屋市教育委員会

○日 時 平成29年5月12日（金）
10時から10時30分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風 呂 井 敬
教育委員	蓑 田 繼 男
教育委員	黒羽子ひとみ
教育委員	早 川 雅 子

○関係者

教育次長	川 畑 晴 彦
教育総務課長	深 水 俊 彦
学校教育課長	中 山 春 年
生涯学習課長	榊 眞 一
教育総務課課長補佐	岩 元 洋 一
教育総務課管理係長	奥 園 伸 展

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
- 5 報告
 - (1) 鹿屋女子高等学校地域人材を活用した授業「課題研究」について
 - (2) 平成29年度鹿屋市教育委員会学校訪問実施計画について
 - (3) 平成29年度鹿屋市障害児就学指導委員会委員について
 - (4) 笑育授業の実施について
 - (5) 文化のまち鹿屋魅力アップ事業について
 - (6) 鹿屋寺子屋事業について
 - (7) 川原園井堰長編ドキュメンタリー映画上映について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>おはようございます。なかなかこの会でおはようございますと言う事はありませんが、爽やかな午前中にできてよかったと思っています。テレビを見ると29度30度というところがあり、最近は特に春と秋がなく、一番良い季節が少ないなと実感しています。</p> <p>学校は新年度がスタートして一ヵ月半ぐらいです。色んな面で順調に進んでいますが、いくつか怪我の報告があり、やはり多くの子ども達がいると油断できないと思っているところです。</p> <p>今日の会議については報告が主になっており、議事はありません。報告事項はたくさん的大事なことがあり、後ほど説明しますので、不明なところは質問をしてください。</p> <p>それでは、よろしく申し上げます。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
教育長	なし
4	議事
教育長	なし
5	報告
教育総務課長	<p>(1) 鹿屋女子高等学校地域人材を活用した授業「課題研究」について</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
教育長	<p>完成年度に向けての試行的段階の初年度ということでわりと希望の多いようなところのまずは2つをスタートさせていくということである。</p>
風呂井委員	<p>去年度の授業実数もありますよね。この総合選択制というのは、これは単位の取得というのはどうなっているのか。</p>

学校教育課長	通常の授業と同じようにコマ数に応じて単位が出る。
風呂井委員	高校の単位は決まっている。総合選択制というのは結果としてで、良いのか、それとも事前申請をするのか。
学校教育課長	高校の場合もだが、週に何時間、例えば週に2時間あれば2単位とカウントして、それを年間で、学校によって違いますが、前期・後期で、もう前半だけで2時間やれば通年で1単位というように、通年で週に2時間とっていけば換算して2単位というように認めていく。
蓑田委員	これは実数的には週1時間か。課題教育は週1時間で1単位、年間35時間の範囲内で進めていくことになっている。
教育長	今までの課題研究を膨らませて、週2時間2単位である。国語とか数学のようにキチッと基礎的に定められた教科と学校もしくは学科で特別にこういったものをやるのと、大きく2つに分けて両方とも認められる範囲のものである。したがって、これは高校の卒業単位として認定されるものである。
風呂井委員	高校単独で決められるのか。
蓑田委員	農業、工業、商業で1単位ずつは入っている。ただ、このように特別に2単位というのは今までにどこの学校でもやっていない。課題研究という科目はあるが、この2単位というのはまた別である。
教育長	このように時間をしっかりとって、しかも2年3年と継続できたり、就職、進学を目指したきめ細やかな子ども達の実態に対応した多くの講座を設定するとかいう工夫をしている。32年をひとつの目的として試行的に29年度からスタートさせた。
風呂井委員	2学期以降の予定は？
教育総務課長	鹿屋女子高校の方では、モデルツアーを作ってプレゼンをして、実際にモデルツアーを実施する予定である。保育福祉では、保育、幼稚園から高齢者介護に移して勉強をさせていただいている。
蓑田委員	研究発表というのは、これは公開するのか。

教育総務課長	<p>未定であるが、可能であれば公開していく。</p> <p>せっかく色々良いがあるので、一般に広く公開していくのは大事である。</p>
黒羽子委員	<p>一般の人向けのツアーを示して鹿屋市の人に、観光課の方と話をし、一般のツアーにする方法もあるし、PTAや保護者に対してする方法もある。</p>
教育総務課長	<p>今、調整中であるが、いずれにしてもツアーの実施は行うつもりである。</p>
黒羽子委員	<p>それにあわせてひとつ。それぞれ13人と14人となっているが、他の子ども達の課題研究は何か計画があるのか。</p>
教育総務課長	<p>今回、地域人材を利用したものは以上だが、食物調理、ビジネス関係など、他にも選択科目があり、それはこれまで通り女子高の先生が御自分で講師をしていくので、他の選択の課題研究もある。</p>
教育長	<p>全容がわかるような資料があれば良かったかな。これまでにベースとなるような取組があって、それを拡大した事業である。</p>
養田委員	<p>課題研究というのは自分たちでテーマを作って、地域の事でも何でも課題を作ってそれを2人でも1人でも追及して、この2時間の中でも勉強して、3学期には自分の取り組んだ研究を発表して、それを評価していく。これは今後のためになりそうな取組だと、他の生徒達は他でチームを組んで色んな取組をする。</p>
教育長	<p>今回、外部講師を招いて、職業を意識して取り組み始めた。</p>
黒羽子委員	<p>この時期というのはベストなのか。課題研究を3年の1学期から始めるとするのは丁度良いのか。</p>
教育総務課長	<p>平成32年度に完成する時点では2年生からこの総合選択制のシステムが始まる。今回は、試行的に3年生の中に盛り込んだが、来年、再来年からは2年生から始まる。</p>

黒羽子委員	就職や進学というのは2年生である程度決めて、3年生ではそれに向けて進んでいるから、このままではどうなのかなと思っていた。
教育総務課長	来年、再来年から2年生も入っていく。
学校教育課長	(2) 平成29年度鹿屋市教育委員会学校訪問実施計画について (資料に基づき説明)
教育長	学校訪問は大きく2つのパターンがある。ひとつはまず、全部の先生や子ども達の様子を見る。学校全体や施設を見る。後半は、ある一つの学級で研究授業をして、それについて協議を深めるというものである。午前中で全体や施設を見るのが終わる。したがって、是非見てほしいのは全体なので、午前中は、ぜひ来てもらいたい。
学校教育課長	(3) 平成29年度鹿屋市障害児就学指導委員会委員について (資料に基づき説明)
学校教育課長	(4) 笑育授業の実施について (資料に基づき説明)
教育長	日程は、笑育の授業が行われる際に、大阪からプロの漫才師が来る日というので、その間にも学校によっては授業がある。4時間から5時間での取扱いで、最初と最後にプロからの指導をいただくということである。大阪なんかでは、かなりの学校が取り組んでいて、ビデオを見ると子ども達がペアを組んで漫才をしているような楽しい授業で、思い切って自分の考えを言うといったような取組であるようだ。
風呂井委員	県内で他に取り組んでいる学校はあるか。
学校教育課長	県内では初めて。九州では長崎が始めている。
風呂井委員	芸能プロダクションが全国でこういったことをしている。そのバックは松竹芸能か。
教育長	松竹芸能の社長が、大阪府の教育委員をなさっていて、その方が教

黒羽子委員	<p>育に力を入れていて、現場と一緒にやりたいということで、関西では活発であるが、九州では旅費や時間がかかるからなかなか進んでいなかったが、今回はたまたま成立した。</p> <p>これは今年度だけか。</p>
教育長	<p>成果を見て今後検討していく。成果をどこで見るのかは難しいが。正式決定ではないが松竹芸能が環境省ともタイアップして、福島の学校でも、笑育を導入しており、その子ども達と鹿屋の子ども達で身に付ける力がどのように変容していくかを対比していくようで、それは大学教授が分析してくださるようである。対比は別として、身に付けた力がどのように変わっていくのかは客観的に見て取れるので、来年度どうしていくのかの参考にはなると思っている。</p>
黒羽子委員	<p>効果は、何年か続けて見えてくるのではないか。対象の子ども達も変わってくるので、今はなんとも言えない。</p>
教育長	<p>結果がよければ、うちは福島に関係なく、予算を計上するようお願いして予算が付けば続けていくつもりであるが、続ける必要が無いなど結果から判断したら打切らざるを得ない。効果は、やってみないとわからない。</p>
早川委員	<p>笑いに対する文化の違いもあると思うので、長いスパンでやっていかないと見えてこないものもあると思う。</p>
蓑田委員	<p>地域振興も含めて、まずその走りにはなる。学校に来られない子どもが、ただ笑うだけでも効果があったと言えるのではないか。</p>
教育長	<p>おっしゃるように1年でこれは良い事業なので来年度もと言い切るのには難しいと思うので、続けていって始めて効果はでてくるのではないかと思っている。とりあえずは一生懸命やってみようということである。</p>
	<p>(5) 文化のまち鹿屋魅力アップ事業について</p>
生涯学習課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
早川委員	<p>伝統芸能の発表と言うと、鹿屋の伝統芸能なのか。具体的にどうい</p>

生涯学習課長	<p>うのがあるのか。</p> <p>盆踊り、金木踊りとか鹿屋の地域であれば、串良、吾平、輝北にもあるが。鹿屋の伝統芸能を披露する場がないという要望もあって、鹿屋市民も何があるのか分からないので、発表の場を設けるといいことで色んなものを絡めて知っていただこうと考えている。</p>
早川委員	<p>予想できるものは。</p>
黒羽子委員	<p>吾平のそばきり祭りとか、金踊りとか。</p> <p>今、色々と申込みが来ているが、同じ盆踊りだけではいけないということで、選考をしてやっていこうと思っている。中には高齢化等により活動が上手くいかないということもあって、そんなところに少しでもきっかけになってくれればいい。</p>
黒羽子委員	<p>選考は難しいですね。</p>
生涯学習課長	<p>今年単独で終わろうとは考えておりません。今後の事も踏まえて選考していく。</p>
早川委員	<p>市民ミュージカル花戦であるが、東京や全国でもやっていると思うが、これは鹿屋に収入があるのか。</p>
生涯学習課長	<p>売れたチケット代は全部鹿屋に入る。285万の事業費であるが、だいたい100万円でやっていただいている。そこまで利益になるような事業ではない。松永太郎さんは、1回鹿屋で公演して東京でもやりたいということであるが、今回やる意味としては、出発地の鹿屋でまたぜひもう1回やりたいという本人の強い意志と、我々も是非市民に見て頂きたい、かつ鹿屋のPRにもなるだろうという、崇高な意志で実現したような感じで、あまり儲けはない。応援をしたいということで、文化振興の一貫として鹿屋は予算を出している。</p>
風呂井委員	<p>今回の実現を大変喜ばしく思う。</p> <p>(6) 鹿屋寺子屋事業について</p>
生涯学習課長	<p>(資料に基づき説明)</p>

<p>教育長</p> <p>高限は対象児童が20人とかいうことで難しいと思うが、募集人員の見直しはどうか。</p> <p>高限は児童数が27人程度で、これに通常の定員20とすると、物理的になかなか全員でとってしまうので、このへんの人数を見直しながら充実を図って行きたいと思っている。</p> <p>早川委員</p> <p>学びたくても環境が整っていないというのは、お金の面か。</p> <p>生涯学習課長</p> <p>はい。</p> <p>早川委員</p> <p>そうすると、100円食堂などのタイアップもあるとよいのではないか。</p> <p>生涯学習課長</p> <p>もともとの発想はそこにあったが、教育委員会として学校を通してするとなると、あまり全面にその点を出すことはできない。</p> <p>アナウンスとしては経済的に不自由している人に来てくださいとは言いつらいので、また来た児童がそういう子だとレッテルを貼られても困る。去年やったことに対しては良い評価をもらっている。新しく始まるころは6月スタートで今募集中である。体育大生による講師は、実際やるとなると授業とかもあるのではなかなか厳しいところもあり、地域の皆さんにも協力いただこうかなど、軌道修正している。</p> <p>(7) 川原園井堰長編ドキュメンタリー映画上映について</p> <p>生涯学習課長</p> <p>(資料に基づき説明)</p> <p>教育長</p> <p>上映日については、未定である。撮りためていたということで、いつか見ることができるが不明なところがたくさんある。</p> <p>教育長</p> <p>その他質問はないか。</p>	
<p>6</p>	<p>動議の討論</p>
<p>教育長</p>	<p>発言がないので、動議はないものとする。</p>

7	その他
教育長	今後の日程等について、事務局から説明をお願いする。
事務局	(資料に基づき説明)
教育長	次回の定例教育委員会は、平成29年6月1日(金)15時00分から教育長室で行う。
	次に、7月の定例会は、平成29年7月4日(火)15時00分から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	以上をもって5月定例教育委員会を閉会する。
	以上